

2020年 青戸平和公園におけるツミの研究と公園の環境について

葛飾区立中戸小学校 6年 千葉 美文

研究の動機

2018年私は祖父にカメラをもらった。鳥を撮影しようとして青戸平和公園に行った時大きなカメラを持ってきたおじさんと友人の着がたい。何を撮影しているのか聞くと、鷹を撮影している。と答えた。眼鏡を調べるツミという日本最大のタカだった。これから予定がない限り観察し、昨年自由研究青戸平和公園におけるツミの研究にまよった。今回はその続きである。

研究の目的

- 生態が謎の鳥「ツミ」の新しい生態を見つけるため
- 青戸平和公園の崩れかけている生態系をたくさんの人に知らせたい
- その生態系を取り戻すため
- 以上3つを目的にこの研究をする。

研究場所など

研究場所：青戸平和公園とその近辺
 期間：前回2018年6月～2019年8月
 今回2019年9月～2020年8月
 カタ：ツミの観察、ツミや木の撮影、羽やハルトを調べる、ノートに記録、植物や他の生き物は木の本数を数えるなど
 道具：ピンポイント、カメラ、記録ノート

基本的なツミの生態

鳥綱 タカ目 タカ科 ハヤブサ属
 体長：オス約27cm、メス約30cm (日本のタカ類中で最小)
 鳴き声：ヒュー、ヒュー、ヒュー、ヒューなど
 食物：小鳥など主にスズメを食べる。ヒナ様りの練習時昆虫をもらって食べる
 生息地：夏鳥(本州中部以南のツミは留鳥)本州中部以北のツミは冬鳥



2020年青戸平和公園のツミの記録

観察日時：毎日午前7時～午後5時、毎日午前8時～午後5時
 観察者：新沼コナツヒ(観察者の一人は友人の弟)と1時間だけ学校内観察(午前授業の時は午前、午後授業の時は午前)

観察日時	観察内容
2020年1月	1月1日(日) ツミ♀(メス)成鳥を2羽観察する。
2020年2月	2月1日(日) ツミ♂(オス)成鳥を2羽観察する。
2020年3月	3月1日(日) ツミ♀(メス)成鳥を1羽観察する。
2020年4月	4月1日(日) ツミ♀(メス)成鳥を1羽観察する。
2020年5月	5月1日(日) ツミ♀(メス)成鳥を1羽観察する。
2020年6月	6月1日(日) ツミ♀(メス)成鳥を1羽観察する。
2020年7月	7月1日(日) ツミ♀(メス)成鳥を1羽観察する。
2020年8月	8月1日(日) ツミ♀(メス)成鳥を1羽観察する。

新しく分かったツミの生態

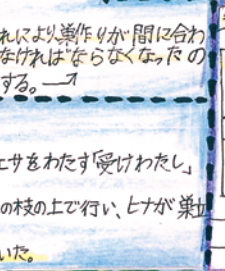
①昨年よりメスがたくさん巣作りをしていた。
 期間：2020年3月～5月までの記録
 状況：ツミは巣作りにも木に生えている枝を使う習性がある。このことをえだ取りという。
 例年はオスが中心とな、えだ取りをしていたが、2020年はメスが中心とな、えだ取りをしていた。メスがえだ取りをして、メスが狩りに行った。
 仮説：2020年の巣を完成させた後、えだ取りが間に合わなくなり、急いでメスがえだ取りをしなくてはならなかったのではなか。巣を完成させた理由は②でしようか。



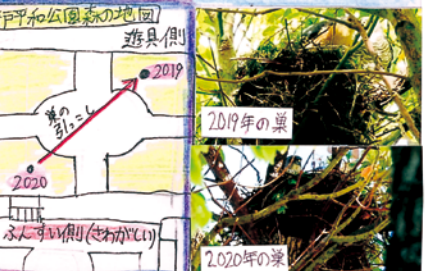
②ツミが空中受け渡しが増えた。
 期間：2020年3月～5月
 状況：ツミは繁殖期～ヒナが巣立つまでオスがメスにエサをわたす「受け渡し」(繁殖期の場合は求愛行動)と呼ばれる行動をする。昨年までは、繁殖期～ヒナが生まれた頃の受け渡しはすべて木の枝の上で行い、ヒナが巣立つころになると、空中で行うようになった。ところが2020年は、繁殖期の時も空中で受け渡しをした。
 仮説：2018年ツミが初めて記録された時ツミの夫婦はまだ若く鳥の羽が青かった。空中で受け渡しをするのもむずかしかった。それから2年たち、2020年になると繁殖期の空中受け渡しの頻度は2年間で倍増した。ツミの夫婦が2年間受け渡しの頻度を減らさなかったことにより、空中受け渡しが増えたのだと思われる。

青戸平和公園の生態系と木の減少について

青戸平和公園は木が多いのが特徴。公園の森は雑木林と呼ばれている。ツミにとって、公園の森は重要な場所である。公園全体で木が減少すると、ツミの生活環境も悪化する。公園の生態系を守るためには、木の数を減らさず、公園の環境を良く保つ必要がある。



ツミの巣
 ツミの巣の位置
 ツミの巣の構造



ツミの巣
 ツミの巣の位置
 ツミの巣の構造

③鳥の巣が利用されている水場はない。本巣は鳥の泳ぐ池や小川が近いが、水が浅い。公園には年に1回水場がある。鳥が木に巣を作るのは、水場が遠いからかもしれない。
 ④鳥の巣が利用されている水場はない。本巣は鳥の泳ぐ池や小川が近いが、水が浅い。公園には年に1回水場がある。鳥が木に巣を作るのは、水場が遠いからかもしれない。

公園の生態系と木の減少
 公園の生態系を守るためには、木の数を減らさず、公園の環境を良く保つ必要がある。

公園の生態系と木の減少
 公園の生態系を守るためには、木の数を減らさず、公園の環境を良く保つ必要がある。



青戸平和公園の生態系と木の減少について
 公園の生態系を守るためには、木の数を減らさず、公園の環境を良く保つ必要がある。